



# 市町村によるアクションプログラム策定

## 【前橋市アクションプログラム】

前橋市 都市計画課

### ■未来へと続く「まえばし」を見据えて

本市は「ぐんま“まちづくり”ビジョン」を受けて、本格的に到来する人口減少・超高齢社会に対応した都市づくりを実現するため、平成26年6月に「前橋市アクションプログラム」を策定しました。

時代は「成長」から「成熟」へ、そして「更新」へと変遷し、厳しい経済状況下において、これまで以上に効率的・効果的な持続性の高い行政運営が求められています。

「前橋市アクションプログラム」は、『まちも人も生き生きと輝く都市「生命都市いきいき前橋」』を将来像に掲げ、中心市街地における都市空間の再構築や郊外地域における都市機能の集約、そして公共交通と連携した市域全体の生活環境を充実していくこととしています。

特に中心市街地では人口減、高齢化が顕著に現れていることから、まちなかへの居住回帰を重点プロジェクトの一つとしており、若者から高齢者までが便利で魅力を感じる都市居住環境を整えることが必要だと捉えています。

そういった中、84号で紹介させていただいた「シェアフラット馬場川」は、既存ストックである空き店舗を学生用シェアハウスに活用した例として、多方面より高い評価を

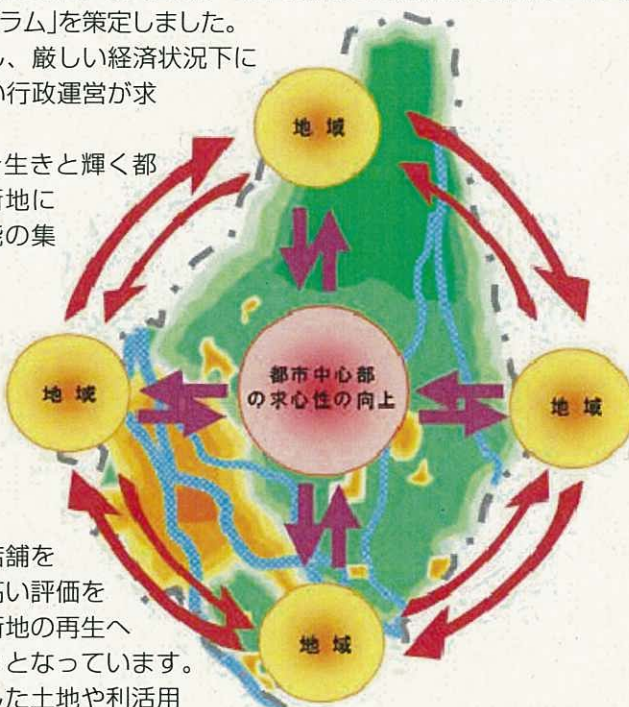


前橋市中心市街地住宅転用促進事業  
空き店舗等を住宅にリニューアルする際の補助金  
単身用 50万円/戸(工事費の1/2以内)  
世帯用 100万円/戸(工事費の1/2以内)  
耐震工事が必要な場合は、工事費の23%以内

を受けており、中心市街地の再生へ向けた大きな足掛かりとなっています。

一方では、遊休化した土地や利活用が困難な老朽化した建物も散々している状況も続いていることから、円滑な都市機能更新を促進するために「市街地総合再生計画」を策定し、再開発事業等の要件緩和を図ることで関係権利者や民間事業者等が事業に取り組みやすい環境を整えたいと考えています。

また、都市再生特別措置法の改正を受けて、市町村では「立地適正化計画」を策定し実行的な集約型都市構造構築へ向けた動きを求められており、本市としてもこうした様々な制度等を模索しながら、持続可能なまちづくりを進めていきたいと考えています。



### ■都市づくりはシビックプライド

本市は、赤城山や利根川といった雄大な自然とJR前橋駅北口から続くけやき並木、市内中心部を流れる広瀬川などの都市環境に恵まれ、永きに渡って文化や歴史を育み今日の「まえばし」を築き上げてきました。

それらを継承しさらにより良いものとしていくためには、まちに愛着と誇りを持てるようになることが必要であり、まちづくりの主役である「まえばし」に関わる方々の発意や活動と市の制度や支援策を連携させながら、都市づくりを推進していきたいと考えています。



写真上  
JR前橋駅北口から県庁まで続くけやき並木  
写真右  
前橋文学館と広瀬川河畔緑地の夜景

